



初志貫徹

発行日
9月10日
3-1

「お客様の笑顔のために」 ~コロナ禍での居酒屋の現状~

今すべきことは何か

世界中の人々の日常を破壊した新型コロナウイルス、そして五百万人以上の命を奪い、その猛威は未だ止まらない。この過酷な現状に立ち向かう飲食店の実態は迫つてきた。若くは小規模な居酒屋に店を構える北の居酒屋さんに取り次ぎとして、政府が義務付けている三密防止を基本とした対策を行っている。出入口の扉や、炬火定期的に開放し、飛沫防止のアクリル板や消毒液を何箇所も設置している。そして小上がりの席を仕切るための扉を工夫し、通常よりも広く開けることで密を防止する等、店独自の対策を行っている。もちろん従業員の健康管理もしっかりと行っている。しかし、十分な対策を行っているにもかかわらず思ふように客足が伸びないのが現状である。大きな要因は客側である私たちの行動規制だ。北海道は三密目的緊急事態宣言の中で人々の行動に大きな規制をかけた。複数での外出制限。営業時間

挫折

みなさんは、挫折というものを体験したことがあるだろうか。特に中学生である私たちは、挫折までいかないものの勉強や部活、人間関係等、様々なことと向き合っている。しかし目的をも、とれず、結果が失敗に終わる。九時、人は挫折を味わうと、挫折に壁、壁は因は人

では、なぜここまで厳しい状況が続いているのかもかわらないうちに、自分たちが、開いたところ、私たちが心を打たれた。「店に働いている従業員のため。従業員の生活を守るために」そして「美味いものを、とくれば、お客様の笑顔を守るために」と話してくれた。自分のためではなく他の人のために頑張れるという思いは飲食店に限らず、この良の理を止めようとする。林も早く対策を考えている政府やコロナウイルスと直接戦う医療従事者と同じだと感じた。そんな中、私たちが考えてみる。今も尚この状況が続く一端は、私たちの店の様子、多くの他人のせいにしていくことが大きい。現在も、感染者が増え続け、先が見えない飲食店や感染リスクが常に隣合わせの医療従事者

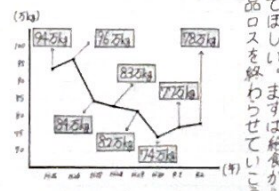
君たちは「食品ロス」とは何が知って、いるだろうか。食品ロスとは、食べられるものが破棄されることだ。そして一番身近にある食品ロスが「給食」だ。残された給食がただだけ食品ロスに閉鎖しているかを知りたい。第一、学校給食共同調理場」に取材した。まず栄養管理士さんに話を聞いた。その方は、栄養が偏らない献立を考えてくれている。「栄養が偏らない」とだけ聞くと簡単に聞こえるが、とても難しい。また、どうすればみんなが残さず食べてくれるかを考えてくれている。(例)肉じゃがのグリーンピースが枝豆に変更された。また、同じ給食を一月に二度は出さないで、調理士さんに話を聞いた。この方達は毎日四十種類の給食を作っている。調理にもたくさんのお力がある。野菜の皮もきき捨てることを防ぐための当りないよう密を虫め切らないといけない。更に大量の具材を確保できないように量早く混ぜないといけない。こんな苦労をした給食が、大量に返却されてくる。ただ、大量に返却される。その上、一ヶ月に返却された給食を燃やすのには一千万円かかる。この無駄な一千万円を使えば、約五十七万本のワクチンを世界に届け、

終わらぬ「食品ロス」

小さな子の命を救える。また給食センターの職員さんには「給食を捨てるのにも体力的に使う、両腕が痛くて擦りたお全で給食を食べているのだから、残さず食べてほしい」と話していた。そもそも給食は、私たちの成長を促し、生活習慣病から守るためにある。しかし子供たちが給食を残してしまつて生活習慣病の予防にはつながらない。このように残された給食は、多くの方の努力が白費でできている。そして私達が無駄にした一千万円が、救える子供たちが多くいる。この二つのことを考えず、偏食がもたらす危険性を、

今年の11月にウトナイ宣言集会が行われる。そこでウトナイ宣言の起源とこれからを知って、もうおとうと、第一期実行部を担う。第一、阿南先生は「この宣言をつくるとき、前例がないもの(ヘ)臨む戸惑いも執行部を悩ませていた。創りた学校像はあつたがわかりやすく伝えるための言葉選びに苦労を重ねた。一生受け継がれるものだから、おとうと、そしてウトナイ宣言が形になりつつある三年目。全校生徒にどのくらい浸透しただろうか。私達は校長先生にウトナイ宣言の浸透率と今後の目標について取

てほしい。まずは給食から食品ロスを終わらせていこう。



編集後記
アオキという植物の形を覚えていた。この新聞のタイトルは、「初志貫徹」だ。初めに心に決めた志を最後まで貫き通すことを意味するこの四字熟語は、担任のアオキ先生にぴったりだった。このタイトルになった。新聞制作では、取材やチームワークの難しさ、将来に役立つことが山あ、先で、これからの生活に役立ててい